

◇◇◇◇検査の種類別検査項目・工事成績評定実施項目の一覧表◇◇◇◇

		検査の種類								
		竣工検査		一部竣工検査		既済部分検査		中間検査		
工事検査・評定する範囲		全て (ただし、一部竣工・既済部分・中間検査による確認済み部分を除く)		出来高調書に計上された部分		出来高調書に計上された部分		・竣工検査時出来形・品質確認困難箇所 ・債務負担工事等で工事が1年以上 ・公所長、出納局長が必要と認める 上記に該当する対象部分		
区分		検査員の検査項目	工事成績評定	検査員の検査項目	工事成績評定	検査員の検査項目	工事成績評定	検査員の検査項目	工事成績評定	
検査項目(評定項目)	1 施工体制	(I)施工体制一般 ----- (II)配置技術者	○ 第1		○ 第1		×		×	
	2 施工状況	(I)施工管理 ----- (II)工程管理 ----- (III)安全管理 ----- (IV)対外関係	△ ○ 第1・第2 ○ 第1	△	○ 第1・第2 ○ 第1	△	×	△	×	
	3 出来形及び出来ばえ	(I)出来形 ----- (II)品質 ----- (III)出来ばえ	○ ○ 第3	○ 第1・第3 ○ 第3	○ 第1・第3 ○ 第3	○ 第3	○ 第3	○ 中間検査用の製本などした特別な書類は、準備する必要はない。ただし、出来形、品質及び適正な施工に関する数値等が確認できる書類とする。	×	
	4 高度技術	(I)高度技術力		○ 第2		○ 第2		×	×	
	5 創意工夫	(I)創意工夫		○ 第1		○ 第1		×	×	
	6 環境対策	(I)環境対策		○ 第1		○ 第1		×	×	
	7 社会性等	(I)地域へ貢献等		○ 第2		○ 第2		×	×	
	工事成績評定	第1・第2評定		○		○		×		×
		第3評定(検査員)		○		○		○		×
	支払いの有無		○ 全額		○ 出来高金額に相応する請負代金の額		○ 出来高金額に相応する請負代金の額の10分の9以内		×	
現場の引取りの有無		○		○		×		×		

※ 検査項目凡例

○：検査対象

△：検査の過程で必要と認める場合は関係資料の提示を求められることができる

※ 評定項目凡例

○：評定対象

※表中の第1、第2、第3の表現はそれぞれ第1評定者、2評定者、3評定者(検査員)が評定します。

×：評定対象外

※ あくまでも標準的な取り扱いの場合であり、特殊な事例は除く。

例えば、中間検査で出来形・品質等の確認ができない場合等は、竣工検査時に改めて確認する。

また、工事実施状況について中間検査を行うときは、出来形及び出来ばえについて検査しない場合もある。